

令和7年度岩手県立岩谷堂高等学校
第2回学校運営協議会・コンソーシアム会議

1. 期 日 令和8年2月6日(金) 10:00～11:30

2. 次 第

(1) 開会のことば

(2) 会長あいさつ

(3) 学校長あいさつ

(4) 生徒発表

ア 卒業研究発表・家庭クラブ 『見直しの時を迎えて～質素でサステナブルな生活を～』

イ 北米研修報告

(5) 協議

ア 報告(進路状況、学校評価アンケート)

イ 学校経営について

(6) その他

(7) 提言

(8) 閉会のことば

3. 意見交換・提言

- ・協議事案について、承認された。
- ・地域の方々が新聞バックに本当に価値を感じて使っている。バック作成への思いや背景を知って、価値が生まれた。改善活動も行っており、今後も情報発信して支援したい。
- ・卒研発表会を見た。皆がそれぞれ個性あり内容も楽しく P D C A サイクルをきちんと回している。即社会で働けるような内容。私たちがさらに岩谷堂高校を身近に感じた。
- ・人材確保の面から医療系などについて市の奨学金制度などがある。積極的に活用してほしい。
- ・会議に出ていない人にも進路実績について、地域での活躍について知らせて欲しい。
- ・生徒が進路について考える機会が多くある。不登校生徒もほとんどおらず、岩高に入って良かったという生徒が多い。良さをどう地域や中学生に広げていくべきかが課題である。
- ・岩高に入って挑戦できる機会がたくさん転がっており、成長できた。
- ・様々な活動を通して効率が悪いと感じる部分が見受けられるのでそこは改善の余地がある。
- ・高校生活で社会における必要な力を身に付け、自己肯定感を上げられるようになることを望む。
- ・相談があれば全面的に協力させていただきたい。地域にも岩高に興味を持つ人はたくさんいる。
- ・行政として、県の再編計画について、江刺として何ができるのか。今後も関わっていきたい。
- ・中高連携に関して、中学校からもさらに高校にアプローチして頂ければと考える。
- ・岩谷堂高校の生徒、保護者の満足度が高く、中高連携に力を入れたいと考えている。
- ・地域は岩谷堂高校に関わりたいと思っている。敷居を高くせずに繋げていく役が私たちである。
- ・今後も生徒の活躍の様子を活発に発信し、地域・行政・中学と連携を図りながら教育の充実を図っていく。